

全国和牛能力共進会 PRの懸垂幕が設置 されました

第9回全国和牛能力共進会の成功を願う



平成19年10月『第9回全国和牛能力共進会』が鳥取県で開催されます。この大会の成功と出品する和牛の上位入賞を祈念し、大山町和牛部会と肥育部会が懸垂幕を作り、6月14日大山町役場前で設置式が行われました。

設置式には、部会員や肥育生産者など関係者約30人が集まり、和牛部西村紀朗会長（大山町加茂）が大会への抱負と成功を祈りあいさつし、幕が掲げられると参加者は拍手で祝いました。

和牛のオリンピックと称されるこの大会は、全国の優秀な和牛が一堂に会し、その優劣を競う全国大会で

あり、5年に1度開催され、平成19年は、メイン会場（種牛の部）に米子市、サブ会場（肉牛の部）は大山町での開催となり、身近で和牛を再発見することが出来ます。

また、大山博労座は、古くから「大山牛馬市」が開かれていた歴史があり、この大会を機に、大山和牛を全国へ発信する良い機会でもあります。

生産者の皆さんが日々育て上げられた努力が実を結び、候補牛の決定、大会での上位入賞に大きな期待が寄せられています。

鮮やかな緑の中を歩く 大山グリーンウォーク

グリーンウォークで見つけた山野草



ヤブデマリ



フタリシズカ



マムシグサ



エゾハルセミの声がこだまする森林の中、自然観察員（中央奥）の説明を熱心に聞く参加者

初夏の大山を満喫する大山グリーンウォークが6月10日（土）に行われ、約500人がブナ林、阿弥陀堂、大山寺などを散策しました。

今月の税
固定資産税（2期分）
納期限は
7月31日（月）です

編集後記

グリーンウォークに参加しました。博労座から榎水高原まで往復する約5キロのコースを3時間半かけて散策しました。自然観察員さんのガイド付きで、普段目が行かないような小さな花や、モリアオガエルの卵や、オタマジャクシなどを見つけるとは立ち止まり過ぎていたらあっという間に時間が過ぎていきました。動いていると汗ばむ陽気でしたが、緑の中で足を止めると、鳥の鳴き声が聞こえ、湿度を含んだひんやりした風が吹いていました。暑い夏、ぜひ森林浴に大山へ出かけてみては。④



大山町広報 7月号 No.16

◆発行：大山町役場
◆編集：企画情報課

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-2702

大山町ホームページ

<http://www.daisen.jp/>

◆印刷：有限会社米子プリント社